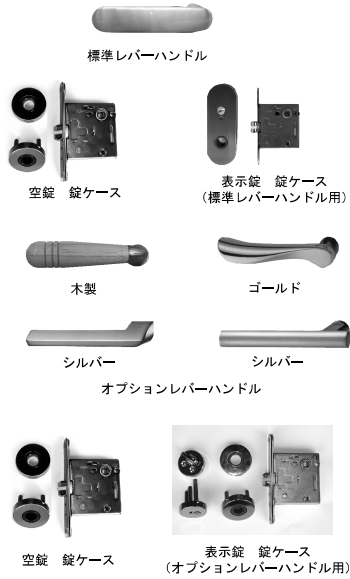


○各部材名称



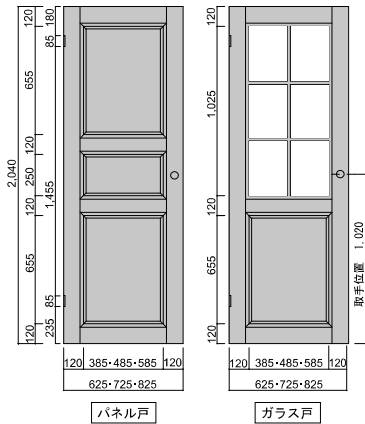
セット名	梱包内容	数量	メモ
枠セット	縦枠	2本	ヒンジ・調整ストライク用欠込有 下部現場加工
	上枠	1本	正寸
	縦枠用戸当	2本	戸当用バックン付 現場加工
	上枠用戸当	1本	戸当用バックン付 現場加工
	ビスセット	一式	
ケーシング・額縁 セット		5本	L=2,200 現場加工
レバーハンドル		1ヶ	
金物セット	3次元調整ヒンジ	2ヶ	長ビス 4本×2 ビス 4本×2
	錠ケース (空錠/表示錠)	1ヶ	取付同色ビス 2本
	調整ストライク	1ヶ	取付同色ビス 2本



～Bioパイン～ 内装ドア施工説明書

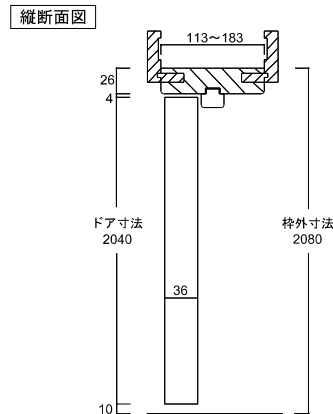
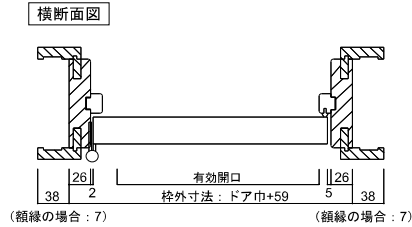
施工前に必ずこの施工説明書をお読み下さい。

○姿図・納まり図



開戸	本体寸法		枠外寸法		有効開口 W
	W	H	W	H	
625	625	2040	684	2080	566
725	725		784		666
825	825		884		766

*ケーシングタイプ、額縁タイプ共通



※アンダーカットを10mmで設定した寸法となります。

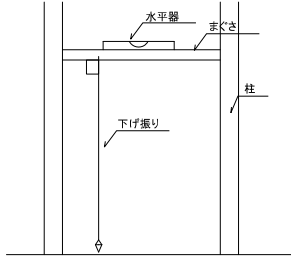
Bioパインドア施工説明書

この度は、Bioパインドアを採用いただきまして誠にありがとうございます。
ドアは、水平・垂直・ねじれ等により、完成時に支障をきたす恐れがございますので
施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。

②施工手順

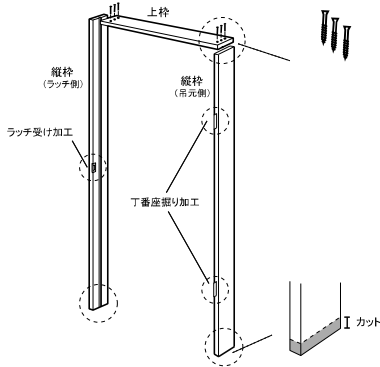
①開口部の調整

下げ振り・水平器で柱・まぐさの水平、垂直、ねじれなどがないか確認の上調整して下さい。



②枠の組立

- 上枠と縦枠を同梱のビスで固定して下さい。
(両側3本ずつ、計6本)
- その際、右吊元、左吊元に合わせて、丁番の座廻り加工がしてある縦枠を吊元側へ、ラッチ受けの加工がしてある縦枠をラッチ側へ使用して下さい。
- 縦枠は長めに設定されています。現場にてカットしてご使用下さい。
- ドアストッパーご使用の際、アンダーカットは7mmまでの対応となります。ドアストッパープラストは13mmまでの対応となります。



ご注意

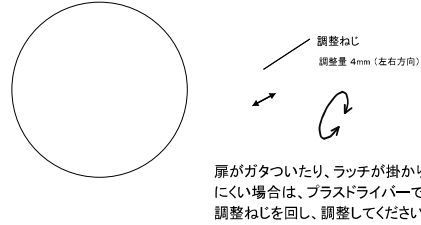
- 下穴処理をせず組立ての場合、枠が割れる可能性があります。
- 組立ては平らな場所で行ってください。

* 親子ドアを取付ご利用の際の注意点

親子ドアの上枠は、親ドア825mm+子ドアの設定になっておりますので、親ドア725mmをご利用の際は、上枠を100mmカットしてご利用下さい。

③調整ラッチの取付

- 取付け位置を確認のうえ、同梱のビスにて取り付けて下さい。



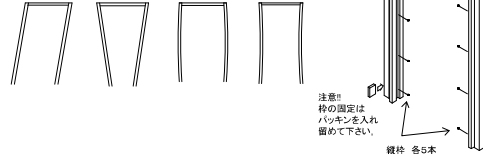
④枠の取付

柱・まぐさとドア枠との隙間に乾燥したパッキン材をかませ、垂直を確認します。そして、水平・ねじれの無いよう、枠内寸法が狂わないようにして調整用ビスで固定して下さい。
(ドアが枠に当たらないか、隙間が均一か、ドアを吊り込んで確認して下さい)

ご注意

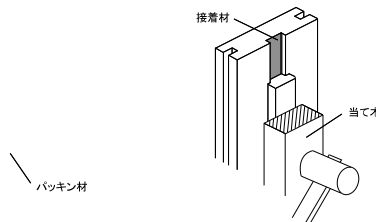
- 戸当溝部に躯体接続用の下穴を空け、ビスにて取り付けて下さい。

* 建具が下図のようにならないように御注意下さい。



⑤戸当りの取付

- ドア枠の内部寸法に合わせて、戸当りの長さをカットして下さい。
- ラッチ側にパッキンの付いた戸当たりをご使用下さい。



ご注意

- 金槌を使用される場合は、必ず当て木をして行って下さい。
- 接着剤が乾くまで固定して下さい。

⑥ケーシング・額縁の組立・取付

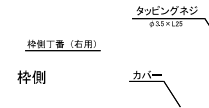
- ケーシング・額縁は納め【留め加工・縦勝ち加工】により現場にて長さを調整しカットして下さい。
- カットしたものを接着剤もしくはフィニッシュネイルで固定して下さい。

⑦丁番の取付・ドア吊込

【丁番の取り付け】

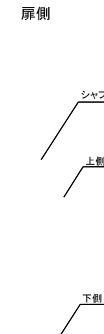
- 枠側
φ3.5×長さ50mmのタッピングネジにて枠側の丁番を止めます。
また、丁番には右用・左用がありますのでご注意ください。
- 扉側
φ3.5×長さ25mmのタッピングネジにて扉側の丁番を止めます。
また、丁番には右用・左用がありますのでご注意ください。

タッピングネジ
φ3.5×L50



【ドア吊り込み】

- 扉を吊り込む前にシャフトを止まる位置まで引き上げておきます。
- 次に、まず下側を差し込み上側を乗せたあと上側のシャフトから落とし込みます。



⑧レバーハンドル取付(空錠・表示錠)

レバーハンドル錠に同梱されている取付説明書に従って施工を行なって下さい。

空錠レバーハンドル

表示錠レバーハンドル

⑨施工終了後

- 保護
当て、擦り傷等が付かないよう保護材などで必ずカバー、もしくは、取り外し傷付かない場所に保管をお願いします。
- お手入れ方法
ドアが汚れている場合、雑巾に水を含ませ固く絞り、拭き取って下さい。
(酸性、アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナーなど)は変色等の原因となりますので絶対にお止め下さい)
- 建具の金具はやわらかい布で乾拭きを行って下さい。
(酸性、アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナーなど)は変色等の原因となりますので絶対にお止め下さい)

ご注意

- ヒンジ等の金物の取付・調整を行う際は、電動ドライバーを使用しないで下さい。